

安全帯の種類・特性

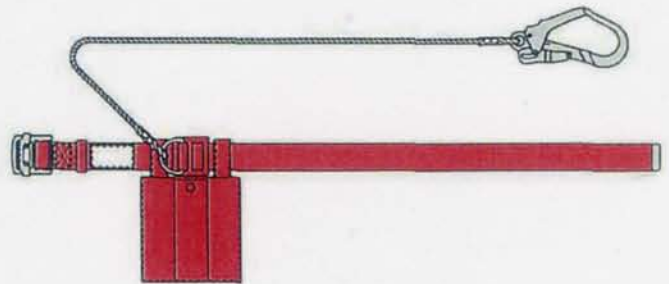
胴ベルト型安全帯

1本つり専用

(ロープ/ストラップ式)

：旧A種安全帯

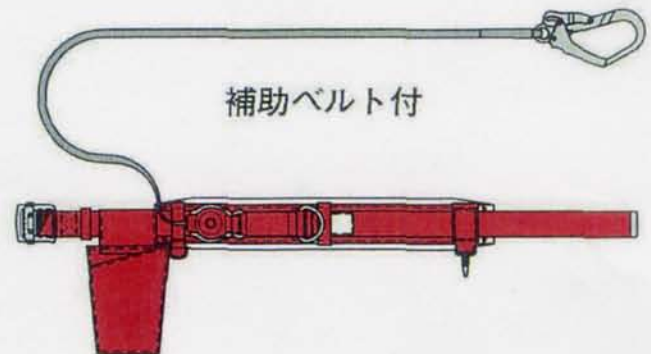
おもに建設現場で使われるもので、安定した足場があり身体を支える必要のない作業で使用する安全帯です。



1本つり専用

(ストラップ巻取り式)

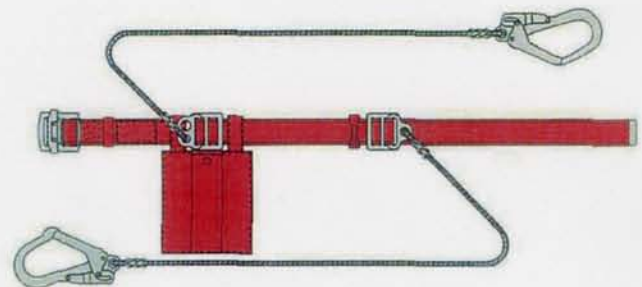
使用しないとき、ランヤードを巻き取り器に収納できる安全帯。巻き取り器には墜落阻止時の落下距離を最小限に抑える自動緊張機能・自動ロック機能付もあります。



1本つり専用

(常時接続型：通称2丁掛け)

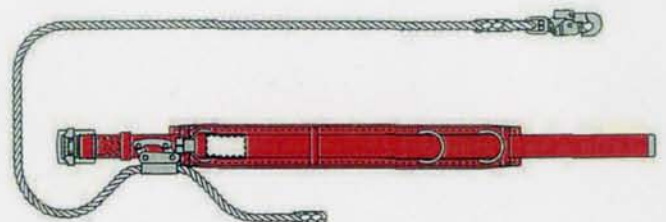
フックの掛け替え時、無胴綱状態を防止できるよう2本目のランヤードを装備した安全帯。1本つり専用のためU字つりができない構造になっています。



U字つり専用

：旧C種安全帯

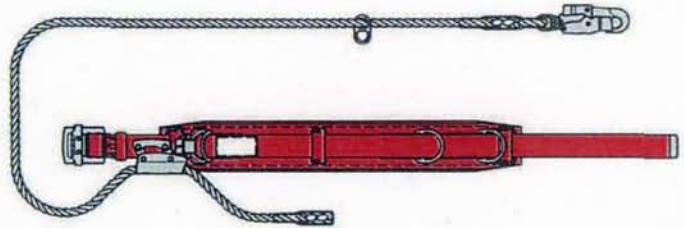
おもに配電工事など、安定した足場がなく身体を支える必要のあるU字つり作業でのみ使用できる安全帯です。



1本つり/U字つり兼用

：旧D種安全帯

安全帯で身体を支える必要があるU字つり作業と身体を支える必要のない1本つり作業の両方に対応できる安全帯です。

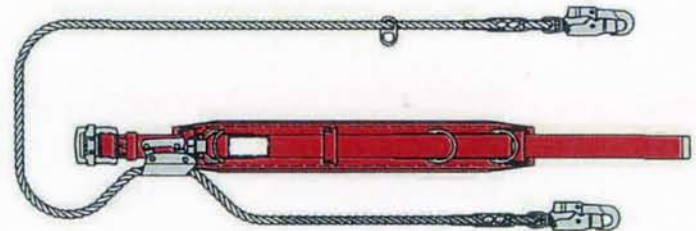


1本つり/U字つり兼用

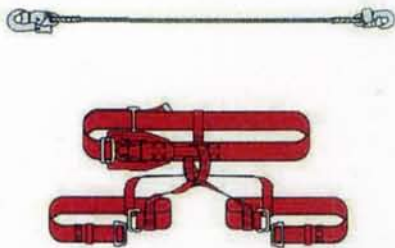
(常時接続型：補助フック付)

：旧E種安全帯

1本つりとU字つり作業の両方に対応でき、フックの掛け替え時、無胴網状態を防止できるようランヤードの両端にフックを設けた安全帯です。

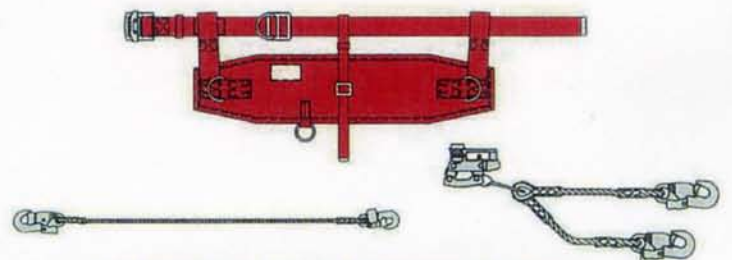


垂直面用



ビル外壁等の垂直面での作業で、おもにブランコ・垂直親綱・スライド等と併用して使用する安全帯です。

傾斜面用



足場の不安定な傾斜面での作業で、親綱・グリップ等と併用して使用する安全帯です。

ハーネス型安全帯

墜落阻止時の衝撃を身体の腿、肩、腰等の複数箇所に分散し、身体にかかる負担を低減する安全性の高い安全帯です。

